



chapter 05

新市づくりの施策

②新市を創造するプロジェクトの推進

①山梨大学との連携強化

●山梨大学の統合による学園都市の形成促進

◎山梨大学医学部を中心とした、学園都市としてのまちづくりや交通の拠点整備を進めます。

●山梨大学医学部、医療機関との連携強化

◎地域の医療機関と山梨大学医学部附属病院との連携による救急医療・在宅医療体制の充実を図ります。

②総合防災拠点の整備

●総合防災拠点整備の強化

◎災害に強いまちづくりを進め、地震・洪水等の災害時の避難場所として、総合防災公園や備蓄倉庫の整備を図ります。

◎災害に備えた地図(ハザードマップ)を作成し、安全確保の取り組みを進めます。

◎防災意識を高めるため、総合防災訓練を実施します。

◎防災情報伝達機器の計画的整備や、非常備消防組織体制の強化を図ります。

◎護岸工事、河川改修、急傾斜地崩壊対策事業、地滑り対策事業など、必要な防災対策を強化します。

◎シルクライン橋の新設により、災害時における避難

③土地区画整理事業の推進

●土地区画整理事業の推進

◎新市の都市機能の基盤を形成するため、土地区画整理事業を推進し、計画的なまちづくりを進めます。

◎(仮)玉穂中央ランプ西部地区土地区画整理事業

◎(仮)玉穂町役場南部地区土地区画整理事業

◎(仮)田富町役場周辺土地区画整理事業

④JR身延線駅周辺整備

●JR身延線東花輪駅、小井川駅周辺の整備

◎駅前広場、駐車場、駐輪場の整備など駅周辺の整備や列車増便の促進など駅利用者の利便を向上させる取り組みを進め、新市の顔としての活用を図ります。

⑤公的機関等の誘致、教育施設等の再生・活用の徹底

●公的機関等の誘致

◎市内への公的機関等の誘致について、積極的に働きかけを行います。

●教育施設等の再生・活用の徹底

◎市内の教育施設や市営住宅などの公共施設等の耐震化と再生・活用を、優先的に進めます。

⑥癒しの空間の創出

●自然環境活用事業等の推進

◎中山間地域総合整備事業等により、気軽に里山に親しむ機会を持つことができるよう、農村公園や遊歩道、農林道を整備します。

●シルクの里公園周辺の整備

◎市民が気軽に里山に親しむことができる公園として整備を進めます。

●都市河川、都市公園の整備

◎親水型の河川公園や、地域に身近な公園を整備し、潤いのある生活空間の創造による市民の憩いの環境づくりを進めます。

●笛吹川河川公園の整備

◎笛吹川の河川敷に地域のシンボルとして親しめる河川公園を整備します。また、釜無川左岸の自転車道(サイクリングロード)の整備を促進します。

⑦子育て支援、健やか高齢者支援

●子育て支援の充実

◎次世代育成支援計画を策定します。

◎保育サービスの充実、子育て支援サークルの育成、相談体制の整備を図り、子育てネットワーク組織の基盤強化を促進し、子育て家庭を支援します。

◎延長保育、学童保育の時間延長を図ります。

◎総合児童センターなどの子育て支援拠点を整備し、共働き家庭など昼間保護者がいない児童の健全な育成を図るための場を提供します。

●健やか高齢者の支援

◎高齢者の知恵と経験をまちづくりに活用するとともに、高齢者が生き甲斐をもって暮らすことができるような取り組みを進めます。

◎高齢者の子育ての経験を活かし、子どもと交流する機会を設けます。

◎高齢者の体力づくり運動を進めます。

●保育所のあり方、児童館の統合整備の検討

◎子育て家庭を総合的に支援する観点から、保育環境の向上や利用しやすい保育所のあり方、運営方法、児童館の適正配置等について検討を進めます。

●幼保一体型施設整備の推進

◎就学前の子どもを幼児教育、保育が混合して保育する施設の整備を進めます。

⑧行財政改革の徹底

●市民の視点からの組織・機構の確立

◎市民の視点から行財政計画を策定し、組織や給与等の見直しを進めます。

◎休日、夜間の市民窓口サービスを充実します。

●市民から信頼される行政の推進

◎新市職員の行政のプロとしての意識を高めるため、専門知識の修得や職員研修や窓口サービスの充実のための取り組みを進めます。

◎行財政改革を徹底し、効率的な行財政運営の展開により、市民に信頼される行政の確立に努めます。

●市民自治の振興

◎情報を公開し、市民と情報を共有し、行政の説明責任を徹底しながら参画と協働のまちづくりを進めます。

●24時間リサイクルステーションの開設、拡充

◎24時間リサイクルステーションの開設を拡充します。

